

寛政丸航海誌 創刊号 2020

寛政丸



ごあいさつ

平成最後の日（4月30日）より任期をいただきまして、翌日（5月1日）に令和の時代を迎え、富山県議会議員やしま浩久として、新たな船出をすることとなりました。ひとえにご尽力・ご支援をいただきました皆様のおかげと深く感謝申し上げますと共に、令和2年、新年を迎え、心よりお慶び申し上げます。

昨年5月の臨時組織議会から始まり、新人議員全員による県政説明会、県内行政機関の視察、政務活動費に関する勉強会、所属会派の活動、さらに県外での政務調査活動など、大変充実した日々を送りました。また6月定例議会、9月定例議会、11月定例議会を通して、少しずつ経験を積み重ね、議員活動を続けております。常任委員会では毎回質問の機会を得ています。スローガン『集う・つなぐ・伝える』を表現するべく、「私の質問」は、特に地域の声に支えられており、大きな重責を感じています。9月議会（9月17日）では議員になって初の一般質問、続けて11月議会でも12月2日に一般質問の機会を与えていただきました。

少し話題は変わりますが、去年は甚大な自然災害が発生し、そこから多くの教訓を得ました。これからの国土づくり、県土づくりに少なからず影響を与えることと思います。一方、富山県では朝乃山関の夏場所優勝や八村塁選手のNBAでの活躍に、また「世界で最も美しい湾クラブ」の世界総会が日本で初めて開催され、スポーツや自然環境のブランド化で勇気・元気をもらった年でもありました。

あらゆる分野で様々な県政課題があるわけですが、少しでも県民にわかり易く、県議会のオープン化を心がけてまいります。これからの県議会活動、^{なぎ}風の時もあろうし、うねりの時もあろうし、荒波の時もあろうし、その時々の変化に機敏に対応し、自分自身、新しいことへの挑戦を怠らず、安全航海に取り組んでまいり所存でございます。

本年、2020年東京オリンピック・パラリンピックもあり、楽しみも多い一年になろうかと思えます。最後になりますが、本年の皆様方にとって、ご健勝・ご多幸をお祈りすると共に、明るい年になりますことを願ひまして、「寛政丸航海誌」創刊号の挨拶と致します。

令和2年2月

やしま 浩久

9月定例議会（一般質問）

「個人と公共の調和型社会実現」のための「地域ふるさとビジョン」より

（質問）「世界で最も美しい湾クラブ」加盟で盛り上がった機運を一過性のものにならないための取り組みは。

（石井知事）本県の環境に対する取り組みや景観美のための湾岸整備は今後も継続する。また、総会決議である「富山宣言」を世界に発信する。今後も毎年開催される総会に参加を続けて、ほかの加盟国とのネットワークを強化する。



（質問）新庄川橋架けかえ工事の進捗について、工期の見通しは。

（水口土木部長）7月までに、各種測量や地質ボーリング調査を終え、測量結果を基に道路・橋梁の予備設計を行っている。工期は、富山大橋のかけかえに要した16年を参考に、新庄川橋のケースで固有の問題も考慮し、20年としているが早期完成を目指すしたい。



（質問）こども110番の家の実施主体であるPTAの主体意識が、校区により大きなばらつきがある。地域間格差是正のために、県が主体的に活性化を図るべき。

（伍嶋教育長）県教育委員会は、市町村教育委員会に対し、地域と連携を密にした安全対策の構築を要請する。教職員対象の防犯教育指導者講習会で事例発表を行う等、情報提供を積極的に行う。

（質問）県内のあおり運転の近年の摘発件数と、さらなる摘発強化の取り組みについて。

（大原県警本部長）車間距離不保持（道路交通法違反）の検挙件数は、平成29年4件、平成30年34件、平成31年は8月時点で前年1年間分を上回る69件。更なる摘発に向けては、県警ヘリコプターとパトカーとの連携による空陸一帯の取り締まりを実施する。今後は、刑法の適用など、より厳正な捜査と迅速な行政処分を行う所存。

（質問）文化財の維持・継承に向けて、県としての取り組みは。

（伍嶋教育長）本県の多彩で魅力ある伝統的な祭りや行事が地域社会の中で永く保存継承され、その魅力が国内外に十分に発信されるよう、必要な支援を施したい。

ほか、漁業廃棄物処理について、質問。

「人生100年時代を見据えた」豊かな暮らしビジョンより

（質問）TGC（東京ガールズコレクション）開催による集客及び経済効果は。また2020年の誘致活動についてはどう考えているか。

（蔵堀総合政策局長）経済波及効果は主催者側で集計中だが、昨年は経済波及効果が約7億円、パブリシティ効果で約5.4億円、合計12億4,000万円の経済効果。本年はそれを上回る効果が予想される。来年度の開催は未定だが、開催実績を踏まえて共催者である富山市や関係企業の皆さんと協議したい。



（質問）2020年8月に開催される第68回日本PTA全国研究大会富山大会並びに第76回日本PTA東海北陸ブロック研究大会富山大会の成功に向けて、県としてどのような支援を考えているか。

（伍嶋教育長）「親学び」や「14歳の挑戦」など、富山県ならではの特色ある教育の取り組みや県独自のPTA活動を発信する機会である。県教育委員会として、大会開催の周知をはじめとして大会運営に支援を行う。

（質問）成年年齢引き下げ（2022年4月1日より、成年年齢が18歳に引き下げられる）によって生じる変化は。また、県としてどのような教育的準備が必要か。

（伍嶋教育長）消費者被害が、より低年齢化することが予想される。自立した消費者を育成するための消費者教育の充実や体系的なキャリア教育の推進を図る。

（質問）消費増税対策として、低所得者及び3歳未満のお子さんのいる世帯を対象に住民税の非課税が適用されるが、対象人数に対して現在の申請数、対象となる子育て世代への商品券の引換券の送付状況は。

（滝経営管理部長）住民税非課税については、9月現在の申請状況が対象者の約26%。子育て世代の世帯主については申請の必要はなく、市町村から引換券を個別に配布する。県として市町村を適切に支援する。

（質問）富山県の企業版ふるさと納税の実績は。

（滝経営管理部長）富山県においては5件、1,120万円にとどまっている。税額控除割合のさらなる拡大や、手続きの抜本的な簡素化等の提言を取りまとめた政府・与党に働きかけたい。

「国際化」のための産業ビジョンより

（質問）人口減少や社会保障制度等の諸問題を抱え

11月定例議会（一般質問）

ながらも維持発展していくためには、外国人の活躍や多文化共生社会の実現が必要不可欠。日本人にも外国人にも働きやすく、暮らしやすい共生社会をどのように実現するか。

（石井知事）外国人の受け入れにおいては、言葉に関する施策が必要。「外国人ワンストップ相談センター」を開設し、相談員を配置する。併せて、翻訳機やタブレット端末を設置する。また、企業を対象に、日本人社員のコミュニケーション力向上に向けた研修を実施する。より一層の国際理解の醸成に向けた努力をし、外国人にとっても日本人にとっても働きやすく暮らしやすい富山県となれるよう努力する。



（質問）国際化に伴う負の影響として、アカカミアリやヒアリといった有害な特定外来生物が発見されている。現在の富山新港での対処状況と根絶の見通しは。
（須河生活環境文化部長）現在、富山新港では、国の調査で指摘を受けて以来、継続的にアカカミアリの有無を調査しているが、これまでのところ発見されていない。水際対策の強化が何よりも重要であり、定期的な調査と早期発見、駆除に努める。

（質問）県内における過去5年間の来日外国人犯罪の検挙状況の推移や特徴は。また、今後予想される外国人犯罪に対し、県警察としてどのように取り組むか。
（大原県警本部長）検挙状況は、平成26年以降横ばいだったが、平成30年は大きく増加した。国籍別では中国が4割、ベトナムが近年多くなっており3割を記録している。罪種別では窃盗が6割以上を占める。県警としては今年、新たに国際捜査課を設置するとともに、立入検査やパトロール強化、水際対策の強化等、変容する社会環境や犯罪情勢に柔軟に対応する。

「個人と公共の調和型社会実現」のための『地域ふるさとビジョン』より

（質問）河川の増水によって大量の流木やゴミが海岸に流れ着き、それらの処理が地元住民や漁業者の負担となっている。漂着物の処理や流出抑制に関する県の取り組みは。
（水口土木部長）「富山県海岸漂着物対策推進地域計画」によると、人力での回収が困難な場合は県が、それ以外の小さな漂着物は市町村が、ボランティアの協力を得ながら回収することとしている。また、海への流木流出抑制のために、河川内の樹木の伐採を計画的に実施している。河川にゴミを流出させないための取り組みを今後も進める。

（質問）内川には危機管理型水位計が1箇所だけ設置されているが、追加設置が必要。
（水口土木部長）10月の中新湊地域の増水は高潮が原因であり、内川の水位は東西で同じであるため、地盤の低い地区で冠水が発生したものと捉えている。地盤の低い箇所と水位の関係の把握が必要である。

（質問）現在事業中の高岡市中曽根から射水市作道地内までの県道整備見通しは。
（水口土木部長）平成26年度から、高岡市中曽根地内より射水市作道地内までの延長1.8kmのバイパス整備に取り組み、今年度は路側構造物の工事に着手した。その他に当該地区の用地取得や物件調査も進展しており、来年度は作道地内の物件移転交渉に入る。新庄川橋架けかえ工事期間中の補完ルートとなることから、早期整備に向けて努めたい。

「人生100年時代を見据えた」豊かな暮らしビジョンより

（質問）日本高野連が導入するとされる球数制限について、ルール改正の影響や強化策は。
（伍嶋教育長）球数制限によって複数投手の育成が必要なことから、部員の少ない学校ではチーム編成に支障をきたす恐れがある。しかしながら、選手ファーストの観点から、児童・生徒の故障による挫折を未然に防止するチャンスと捉え、高野連をはじめとする関連団体と連携・協力しながら競技力のさらなる向上に努めたい。

地方政治の「二元代表制」について

【二元代表制】（にげんだいひょうせい）

市民が直接選挙で首長と議員を別々に選ぶ制度。地方政治は二元代表制を採用している。首長は予算や条例等の議案を議会（議員で構成）に提出し、議会は議案の議決で首長の行政運営を監視する。首長と議員は車輪の両輪であり、相互に作用しながら行政を前進させる。
⇒反対語…議院内閣制（首相を議員から選ぶ制度）。国政は議員内閣制を採用している。

車輪の両輪のように…



	首長（知事・市町村長）	議員（県議・市町村議）
機能	行政執行権限・予算編成権	要望・情報・点検
特徴	現実目線、短期課題が得意	窓口、長期課題が得意



(質問) 重度の知的障害者が、行動障害を重複していることを理由に、施設への入所を受け入れてもらえないケースをどのように認識しているか。

(市村厚生部長) 障害の程度が中度から重度の障がい者を受け入れる支援施設は県内に27あるが、入所に至らなかった事例は9市町村で20名程度ある。要因としては、施設の空きがないことやマッチングしないことが挙げられる。障がい者の自立支援の流れを作ることと同じくらい、施設への受け入れ体制を強化することが必要であり、障がい者のニーズに沿った適切なサービスを提供できるよう、市町村の支援に努める。

(質問) ヨット・セーリングの指導者育成、普及、強化に向けた取り組みは。

(蔵堀総合政策局長) これまでも全中ヨット大会や海洋教室の開催、タモリカップや極東杯ヨットレースの各種コンペティションの招致にも成功してきた。今後も新湊マリーナ等の優れた設備や環境を活かして、底辺の拡大や指導者の資質向上に向けて取り組む。

(質問) 現在検討が進められている、県の新しいスポーツプランの方向性は。

(石井知事) 「全国や世界の檣舞台で活躍できる選手の育成と強化」を基本施策に掲げ、中長期的な視点で新しいスポーツプランに取り組んでいる。トップアスリート育成の推進、強化拠点整備、支援体制づくり、指導者の育成を、取り組みの4つの柱としている。

ほか、地域生活支援拠点の整備について、知的障がい者入所施設等の老朽化に伴う改築課題について、質問。

「国際化」のための産業ビジョンより

(質問) 「くすりのシリコンバレー TOYAMA」創造コンソーシアムの取り組みに対する評価と、今後の課題や期待される効果は。

(石井知事) コンソーシアムでは、世界水準の研究開発や人材育成・確保等に取り組んでおり、本県の医薬品産業が1兆円の産業へと飛躍し、「世界に注目される薬都とやま」が実現されるよう、産学官の連携を密にして今後も取り組んでいく。

(質問) とやまアルミコンソーシアム事業では、自動車関連部品や新素材の開発プロジェクトが計画されているが、このプロジェクトに期待することは。

(芝田商工労働部長) プロジェクトは3ヶ年計画の2年目で、取り組みは概ね順調に進んでいるが、品質の安定化やより高度な技術の確立、低コスト化といった課題も浮き彫りになっている。低炭素社会の実現に向けた世界的な潮流の中、新たな先端技術の創出により県内アルミ産業、ひいては県内産業全体が活性化されることが期待される。

(質問) 主食用米の生産目標面積と作付面積のギャップを解消する取り組みは。

(河村農林水産部長) 本県では「需要に応じた米の生産」と「水田フル活用」を推進しつつ、米の生産目標と作物別の生産方針を提示しているが、生産目標面積に対し、作付面積は400ha程度下回っている。県としては農業団体と一体となって助言、指導を行い、生産目標の着実な達成に向けて、地域と集落の調整に協力したい。

ほか、「富富富」の栽培・生産体制について質問。

県政わかりにくい言葉 用語解説

【5G】(ファイブジー)

第5世代通信。ネットワークでスマホ等を繋ぐ新しい通信規格。現在の4Gに比べて通信速度や同時接続の多さに大幅な改善が見られる。5G移行により、自動車の自動運転や遠隔診察、スマート農業など、IoT化がどんどん進む。

【SDG's】(エスディー・ジーズ)

2015年に国連サミットで採択された、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)。持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲットがあり、先進国や発展途上国の別なく取り組むべき課題。

【DMO】(ディー・エム・オー)

Destination Management Organizationの頭文字の略で、地域にある観光資源(観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗等)に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人のこと。地域の「稼ぐ力」を引き出し、地域への誇りと愛着を醸成する。

Column

【多文化共生】(たぶんかきょうせい)

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと(総務省:多文化共生の推進に関する研究会報告書より)。人口減少等、日本が内包する問題と上手に付き合いながら発展していくためのキーワード。

【society5.0】(ソサエティ5.0)

「狩猟社会」「農耕社会」「工業社会」「情報社会」に続く人類史上5番目の新しい社会を称する。第4次産業革命によって、新しい価値やサービスが次々と創出され、人々に豊かさをもたらす次世代となる。



常任委員会での提言

やしま浩久は5つの常任委員会のうち、経営企画委員会に所属しました。



〈6月 経営企画委員会〉

(八嶋委員) 県外からの移住支援として、本県が行っている支援策や制度、それらの利用状況は。

(当局答弁) 移住情報の発信、相談体制の充実、受け入れ態勢の整備の3点から支援を行っている。

【移住情報の発信】●ホームページやSNSでの情報発信 ●ホームページの利用状況は年間95,000件のアクセス

●移住プロモーションの企画やPR動画の作成

【相談体制の充実】●くらし・しごと支援センターを富山の他に東京、大阪にも設置

●県内の地域や企業を訪問するツアーの催行 ●支援センターへの相談実績は昨年5,000件余り

【受け入れ態勢の整備】●移住者受入モデル地域を県内では7か所選定 ●空き家の改修状況3件

●来県の際の交通費助成

提言 「外国人ワンストップ相談センター」への相談は外国人に限らず、地域住民からも受け付けるべき。

提言 外国人の方には単に技術を習得してお金を稼ぐという目的だけではなく、日本・富山の文化・風習にも親近感を持ってもらう工夫を。→「富山県外国人材活躍・多文化共生推進プラン(仮称)」の策定。

提言 立山砂防の世界遺産登録に向けて、顕著な普遍的価値を理解してもらえる努力を。

〈9月 経営企画委員会〉

(八嶋委員) 外国人ワンストップ相談センターの実績や課題は。

(当局答弁) 右記内容 【相談実績】●8月末現在で133件(昨年1年間の実績74件を大幅に上回る)

【今後の課題】●関係機関との関係強化 ●相談員の資質向上

提言 統計をしっかりと分析し、施策に必要な予算の積み上げを。

提言 外国人住民の増加、滞在の長期化に伴い、治安の悪化を懸念する声が聞かれる。様々な部局を横断して連携し、効果的な課題解決を。

〈11月 経営企画委員会〉

(八嶋委員) 首都圏からの移住(IUJターン)促進進捗状況や課題は。

また、移住支援金対象求人のマッチングの状況は。

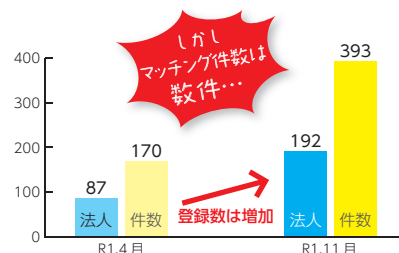
(当局答弁) ●全国に先駆けて、4月から移住支援金制度の対象となる企業の求人情報を公表。

●当初87法人170件の求人を掲載。

その後11月には、求人登録数が大幅増(192法人393件)。

●マッチング件数は数件にとどまっており(目標は160件)、苦戦している。

●首都圏での広告やセミナーの開催など周知を強化してまいりたい。



(八嶋委員) 「家族でハッピー!家事・育児分担キャンペーン」の概要と周知方法は。

(当局答弁) ●家族の家事・育児の分担を見直すきっかけづくりが目的。

●「我が家のミーティングシート」で夫婦間の家事負担割合を見える化、ポスターやハンドブック等の作成・配布、フェスティバル等のイベントの開催。

(八嶋委員) マリッジサポートセンターの会員増加の促進に対する施策は。

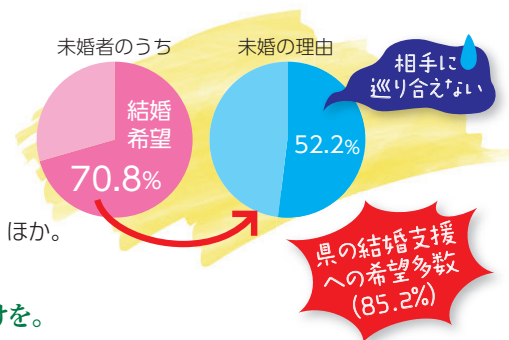
(当局答弁) ●11月末までに278名(前年同時期比34.2%増)の新規登録。

●20代、30代対象の結婚意識調査では、未婚者のうち70.8%が結婚したいと回答。

●結婚していない理由…52.2%が「適当な相手に巡り合えない」。

●県等に結婚支援に取り組んでほしい…85.2%。

●会員募集ポスターの配布、PR動画の作成、SNS広告、情報誌への掲載 ほか。



その他 提言 ・移住促進に向けて、首都圏での広報や周知に一層の努力を。

・プレミアム商品券のより多くの活用(申請数増加)に向けた働きかけを。

・災害発生時にボランティア活動の推進や積極的な派遣を県が主導して行うべき。

特別委員会での発言

やしま浩久は「総合交通・県土強化特別委員会」に所属しています。

〈11月 提言〉10月の台風被害直後の新幹線不通期間に、富山ー羽田便の維持・拡充に尽力していただいたことを感謝している。

今後も定期航空便の維持と更なる充実を!

視察 Look ア Listen レ Do コ レ

見る 聞く 動く!社会の最先端の技術や他県・他地域での先行事例を、やしま自らの目で視察しています!たくさんものを吸収し、議員としての知見を高め、政治活動に活かしてまいります!

1 青森県・八戸三社大祭の視察

国指定重要無形民族文化財でユネスコ無形文化遺産登録された『八戸三社大祭』を視察してきました。大祭では、27台の風流山車を見て、その華やかさにとても驚かされました。また、八戸物産館ハッチでは、八戸三社大祭の紹介のみならず、お土産品の販売も行っていて、とても賑わっていました。全国山・鉾・屋台保存連合会の交流会では、国指定またはユネスコ登録には、歴史、特徴、文化遺産の維持や継承に対する努力、また祭を支える仕組み等の様々な要素が複合的に機能していることがとても重要だと教わり、あらためて歴史・伝統・文化に対する関係者や地域全体の真剣さが問われるのだと感じました。



2 5Gについて勉強・要望

5G（第5世代移動通信システム）技術を利用した活用例を学び体感するとともに、5G 技術を活かした企業連携の最新ニュースに触れてまいりました。



さらに、総務省を訪問し、富山県議会として『ローカル5Gの早期整備支援と利活用の推進について』の要望書を提出し、5G環境の整備に向けた総務省の取り組みについて勉強してきました。



3 水素燃料自動車 事例見学

水素を燃料とした電気自動車の導入事例を見学しに、宮城県仙台市を訪れました。今後、タンクやボディといった主要な部品をアルミに切り換えることで車体の軽量化を図る方向性と聞き、県の主要産業であるアルミ産業への展開と期待を感じました。



4 東京新湊会に出席

新議員となり、自己紹介も含め、初めて東京新湊会に出席しました。県議として富山県・射水市のPR、また自身の直近の状況や地域の課題等についてお話をさせていただき、活発な意見交換もしてまいりました。



▲東京新湊会・桜田会長と。

部活動 同好会



県議で作るレガッタチームの一員に入り、レースに参加しました。

家業が
活かした?



やしま浩久は他にも野球クラブやゴルフ同好会に所属し、他の同僚議員と共に健康にも配慮しながら、コミュニケーションの機会を得ています。

やしま浩久の所属

- ・〈会派〉自由民主党富山県議会議員会
- ・〈常任委員会〉経営企画委員会 委員
- ・〈特別委員会〉総合交通・県土強靱化委員会 委員
- ・〈自民党議員連盟〉西部活性化議員連盟 事務局次長
商工会議員連盟 幹事
日露友好議員連盟 ほか
- ・〈自民党調査会〉水産問題調査会 事務局次長
富山湾未来創造調査会 事務局次長
雇用問題調査会 ほか

- ・〈超党派議員連盟〉日中友好議員連盟
(ほか日韓、日台も)
スポーツ振興議員連盟
拉致議員連盟 ほか
- ・〈議員同好会〉芸術文化倶楽部 監事
ほか議員野球クラブ、
議員ゴルフ同好会、
書道クラブに所属



数字で見る やしま浩久の活動

定例議会での発言数
(一般質問)

27

常任委員会での発言数

18

特別委員会での発言数

2

やしま浩久の年齢
(R2.2.2 現在)

56

富山県議40人中 年齢が
若い方から数えて15番目

15

やしま浩久は県議会で
「10 番議員」です!

10

議員野球クラブ
の背番号

59

ゴルフの昨年の
ベストスコア

91⁴⁴/₄₇

議員になってから
広がったベルトの穴の数

2

ご支援の輪の
広がり按比例して...

緊張の
初登庁

やしまの県議会での質問・提言が新聞で取り上げられました!

◆「あおり運転の摘発強化に向けて」(9月18日付 北日本新聞 5面)

◆「TGC(東京ガールズコレクション)開催の効果を問う」(9月18日付 富山新聞 3面)

◆「移住支援金の実績は」「数件に留まっている」(11月23日付 北日本新聞 5面)

◆「くすりコンソーシアム推進体制を強化!」(12月3日付 富山新聞 3面)

◆「くすりコンソーシアム事業の効果として
サマースクール参加学生2名 県内企業に内定!」(12月3日付 北日本新聞 5面)

◆「野球の球数制限への対応やヨット施設の利活用など
中長期的なスポーツ強化を!」(12月3日付 北日本新聞 5面)

やしまの質問・
提言で県政が着実に
前進しています!

これまでの議会報告・県政報告会の実績

- ・令和元年 8月17日…作道地区 (@新湊農村環境改善センター)
- ・ 同 11月15日…新湊地区 (@新湊コミュニティセンター)
- ・ 同 12月 5日…海老江地区 (@こま乃家)
- ・ 同 12月 6日…放生津地区 (@あゆの風センター)
- ・令和2年 1月17日…塚原地区 (@川口公民館)
- ・ 同 1月19日…堀岡地区 (@射水町公民館)
- ・ 同 1月22日…七美地区 (@いみず苑)
- ・ 同 1月24日…大島・大門・太閤山地区 (@大島社会福祉センター)



県政報告会の様子



寛政丸航海誌 創刊にあたって

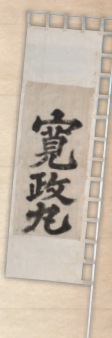
— 家業・八島倉庫の歴史 —

かつて北前船の往来で栄えた新湊地域。やしま浩久の政治資金管理団体および本紙のタイトルにも使わせていただいた「寛政丸」とは、そんな北前船の主力船の一隻の名前で、同時に現在のやしま浩久の生業でもある八島倉庫のルーツとも言えます。

八嶋家古来の言い伝えによると、「寛政丸」は600石の船であり、今で言う10tトラック9～10台分の物量を積載し運搬していた船です。富山・放生津港からは鳥取・境港へ向かうルートと北海道へ向かうルートが運航されており、各地の寄港地で米や肥料、薬草、昆布等の海産物・加工品、布や織物等を積みながら、日本海側をくまなく行き来していたようです。

600石という大きな荷物を、陸路よりも遙かに不安定な海上で運んでいた、当時の船大工の造船技術や船員達の航海技術の正確さには改めて感動させられるばかりですが、現在も寛政当時の思いはそのままに、お客様の大切な荷物を預かり、運ぶ心構えは時代を越えて普遍的なものがあります。

そんな寛政時代の先達に思いを馳せ、どんな荒波にも挫けずひたすら前進する覚悟を、「寛政丸」という名に込めました。「寛政丸」の航海が前途洋々たるものとなるよう、精いっぱい県政に邁進いたします。



いつでも!どこでも!
県政報告に出向きます!
お気軽に
お声掛けください!

やしま 浩久

〒934-0038

富山県射水市津幡江 738-1

TEL.0766-92-1613

FAX 0766-92-1633

ホームページ URL

<https://yashima1613.jp>

E-mail yashima1613

@gmail.com



紙は、雷鳥コートを使用しています
〈R2.2.2 発行〉